

⊕ 研究室の安全管理について

This page was last edited at: 2024/04/01 11:19

安全管理

目次

- 安全教育実施計画
 - 安全教育
 - 安全点検
- 避難経路
- マニュアル
 - 研究室安全マニュアル
 - 事故対応マニュアル
 - 鷹合が67号館（67-311）にいるとき
 - 鷹合が67号館にいないとき
- 大学で作成している安全関係の資料（PDF）

安全教育実施計画

安全教育

各学期の開始時に、安全教育を行う。

- LiPoバッテリーの使用上の注意。
- 電子工作などで、ハンダごて、ドリルや、ヒートガンを使うときの注意。
- 整頓・整理・清掃の必要性の説明。
- 普段から、挨拶をはじめとしたコミュニケーションを図ることの必要性。

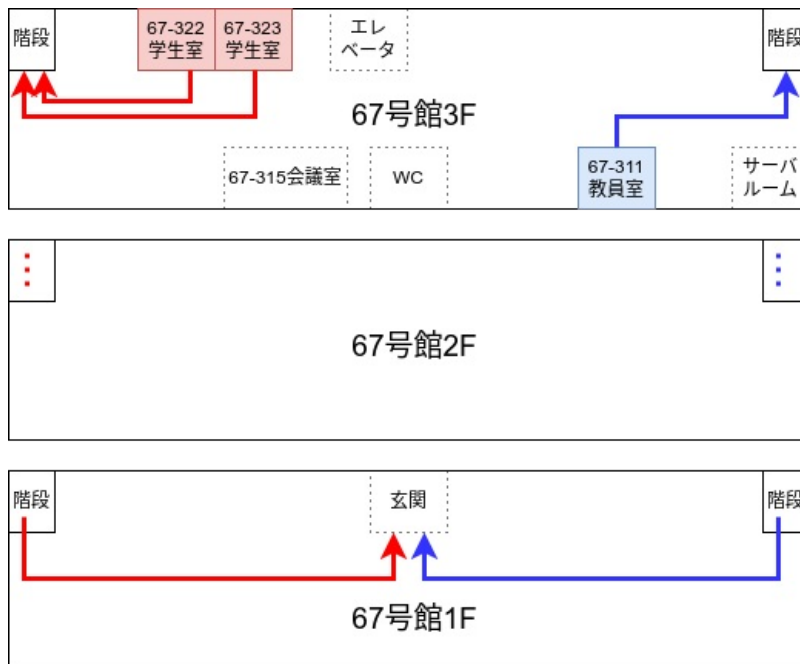
安全点検

毎月、安全点検を実施する。

- 避難経路が確保されているか。
- 部屋全体が清掃・整理・整頓されているか。
- 足元にケーブルを這わせていないか。
- タコ足配線になっていないか。
- 棚の上から物が落ちてこないようにされているか。

避難経路

火災・災害等で退避する場合、67号館の両端にある階段を利用して館外に出ること（エレベータを利用しないこと）。



マニュアル

研究室安全マニュアル

特に以下の点に注意すること。

1. ドローン利用時の注意
 - 回転するプロペラは危ないので注意すること（人の近くで飛ばさないこと。誰か近づいてこないか周囲を確認）。
 - LiPoバッテリー**は慎重に扱うこと。
- Danger

「**⚡LiPoバッテリーの扱い**」をしっかりと頭にいれておくこと。
2. 消火器の場所(67-323の部屋の外)を事前に確認しておくこと。
3. 電気ボット、工具（ドリル・ヒートガン・はんだごて）の使用時の注意
 - はんだごて、ヒートガン、ドリルなど、取り扱いに必要な工具を利用するときは鷹合に事前に連絡すること。**
 - 不安定な場所で使用しないこと。
 - 使用の際は、電源ケーブルが足に引っかからないようにすること。
 - 使用後はもちろん、席を一旦はなれるときも、かならず電源ケーブルを抜くこと。**
 - 使用後は元の場所に戻し、机を清掃すること。
 - やけどや怪我に十分すること。特に、夜間など、人が少ないときの利用は特に注意すること。
4. 火災・地震警報が聞こえたら、指示に従って避難すること。その際、「階段」を使い、エレベータは使わないこと。

事故対応マニュアル

研究室内で事故が発生したら、下記のように対応すること。

鷹合が67号館（67-311）にいるとき

救急が必要だと思ったら、**119番** 通報し、すぐに鷹合に連絡すること。

鷹合が67号館にいないとき

1. 救急が必要だと思ったら **119番** 通報する
2. **やつかほ事務室（内線：2002）** に電話連絡し、その指示に従うこと。事務員さんが不在となる夜間であっても、自動的に警備員室に繋がるようになっているので電話して、その指示に従うこと。
3. 鷹合にも至急連絡すること（携帯電話：090-4686-6907）

大学で作成している安全関係の資料（PDF）

「大地震対応ガイドブック」 [http://mercury.kanazawa-it.ac.jp/earthquake/JisinGuide.pdf] キャンパス内に設けられる避難場所などの情報も出ているのでスマホにDLしておくとうい
「安全管理推進者研修会資料」 [http://mercury.kanazawa-it.ac.jp/safety/files/r5siryou1.pdf]
「安全の手引」 [http://mercury.kanazawa-it.ac.jp/safety/files/tebiki.pdf]
「安全指針」 [http://mercury.kanazawa-it.ac.jp/safety/files/sisin.pdf]
「大災害対策基本マニュアル」 [https://mercury.kanazawa-it.ac.jp/earthquake/saigai-taisaku.pdf]